平成30年 川崎市健康安全研究所 微生物検査情報Vol.4

目 次

1 食中毒検査結果(平成 30 年 1 月~12 月) ・・・・・・・・ 1	
2 感染症検査結果(平成 30 年 1 月~12 月)	
(2) 呼吸器系細菌検査・・・・・・・・・・・・・・・・・3	
(3) ウイルス検査・・・・・・・・・・・・・・・・・・4	

(発行:平成31年1月11日)

1 食中毒検査結果(平成30年1月~12月)

市内で発生した食中毒事例や有症苦情事例などについて、その原因究明や被害拡大防止を目的として、患者 や関係者の糞便、原因推定施設の食品や拭取り等の検体について分離・同定検査を実施しています。

表1 食中毒検査における月別検査件数及び細菌検出状況 (菌株含む)

表 1 1	夏 甲 再	検査!	<u>- おけ</u>	<u>る月別</u>	」快宜'	<u>件剱及</u>	の細胞	玉陝出	<u> </u>	(菌株	含む)									
										検出組	田菌数									
	検体件数	赤痢菌	(チフス菌、パラチフスA菌を除く)サルモネラ属菌	(腸管出血性大腸菌を除く)病原性大腸菌	腸管出血性大腸菌	(コレラを菌含む) 腸炎ビブリオ	黄色ブドウ球菌	カンピロバクター・ジェジュニ	カンピロバクター・コリ	ウエルシュ菌	エルシニア・エンテロコリチカ	(コレラ菌非O1、ビブリオ・ミミカス)ナグビブリオ	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファーニシィ	エロモナス・フィドロフィラ	エロモナス・ソブリア	プレシオモナス・シゲロイデス	セレウス菌	クドア・セプテンプンクタータ	検出細菌数 計
1月	29						2													2
2月	2							1												1
3月	6						1												1	2
4月	25						1													1
5月	5						1			2										3
6月	36						2			5										7
7月	67		1				2	10	1									1		15
8月	74		3		2		2	2												9
9月	60					16	1													17
10月	22		1					2										10		13
11月	58		1	2			2	8												13
12月	6								1											1
計	390	0	6	2	2	16	14	23	2	7	0	0	0	0	0	0	0	11	1	84

表2 平成30年 川崎市内食中毒発生状況(調査中を除く) (12月末現在)

	事件数	患者数	死者数	喫食者数
平成30年	14件	46名	0名	96名
うち細菌性食中毒(表3参照)	6件	38名	0名	71名

表3 細菌性食中毒一覧

No.	発生月	原因施設	喫食者数	患者数	原因食品 (推定含む)	病因物質	措置
1	6月	飲食店	4名	3名	6/14に提供された 食事	ウエルシュ菌	営業停止2日間
2	7月	飲食店	12名	5名	7/11に提供された 食事	カンピロバクター	営業停止2日間
3	8月	飲食店	8名	4名	8/2,8/5,8/6に提供された食事	腸管出血性大腸菌 O157(VT1+2)	営業停止3日間
4	9月	飲食店	28名	15名	8/31~9/2に提供された食事	腸炎ビブリオ	営業停止3日間
5	10月	給食施設	5名	5名	10/14に提供された 食事	セレウス菌	給食停止1日間
6	11月	飲食店	14名	6名	11/16に提供された 食事	カンピロバクター	営業停止3日間

2 感染症検査結果 (平成30年1月~12月)

「感染症法の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)に基づく届出により医療機関から搬入された菌株や感染症発生動向調査、感染症対策における積極的疫学調査等により採取された検体について、病原性細菌及びウイルスの分離・同定検査を実施しています。

(1) 腸管系細菌検査

表4 感染症検査における月別検査件数及び腸管系細菌検出状況 (菌株含む)

<u>衣4</u> /	竖架证	快宜い	<u>- ぬり</u>	<u>る H ゕ</u>	」快宜	什致及	. O 肠 i	二分性	困快口	1	(困り	で (1))								
										検	出細菌	数									
	検体 件 数	コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	パラチフス菌	(腸管出血性大腸菌を除病原性大腸菌	腸管出血性大腸菌	(チフス・パラチフスをサルモネラ属菌	(コレラ菌を除く) 腸炎ビブリオ	カンピロバクター・ジェ	カンピロバクター・コリ	エルシニア・エンテロコ	ナグビブリオ	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファーニシィ	エロモナス・フィドロフ	エロモナス・ソブリア	プレシオモナス・シゲロ	カルバペネム耐性腸内細	その他	検出細菌数 計
1月	8					<)		除 〈)		ジュニ		リチカ				イラ		イデス	菌科細菌 6		6
2月	6						2												2		4
3月	25		3				8												4		15
4月	22						3												2		5
5月	13						2												2		4
6月	35						11												2		13
7月	25						5												8		13
8月	101						22												12		34
9月	28						7												3		10
10月	29						5												14		19
11月	18						5												6	2	13
12月	14						4												4	1	9
計	324	0	3	0	0	0	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	3	145

(2) 呼吸器系細菌検査

表5 感染症検査における月別検査件数及び呼吸器系細菌検出状況(菌株含む)

1X 0 163		<u> </u>	00 - 7	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		出細菌		X HH ZIX	, r=1 r=1.	VIII //	<u>ル (困</u> な
	検体件数	結核菌培養	結核菌VNTR	A群溶血性レンサ球菌	レジオネラ属菌	肺炎球菌	インフルエンザ菌	百日咳菌	マイコプラズマ	その他	検出細菌数 計
1月	21		6	1		5					12
2月	19		7	2		3					12
3月	21	1	7	1		1	2				12
4月	31		14	2	1	4					21
5月	32		3	2	1	12	2				20
6月	16		4	3		2					9
7月	27		16	1	1	4					22
8月	17		5		1	4	1				11
9月	16		5	1	1	2					9
10月	29		7	3	1	4					15
11月	28		10	2		6					18
12月	23		8	1		9					18
計	280	1	92	19	6	56	5	0	0	0	179

表6 T-スポット. TB検査[※]件数

	検体件数
1月	62
2月	130
3月	97
4月	50
5月	38
6月	61
7月	31
8月	67
9月	30
10月	52
11月	89
12月	96
計	803

※ T-スポット.TB 検査 結核患者接触者健診等で実施する結核の感染を早期に発見するための診断補助検査

(3) ウイルス検査

表7 感染症発生動向調査における月別ウイルス検出状況		
	検出ウイルス数	
検 イ イ イ イ イ イ イ イ フ フ ラ イ メ ボ バラ イ イ イ イ イ フ フ フ フ フ フ フ フ フ カ ウ イ ノ フ フ フ フ ル エ エ ン ブ ザ ガ エ エ ン ブ ザ ガ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	ム ノ ノ リ ロロロタロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロ
1月 102 17 26 48 1		103
2月 66 9 11 34 4 1		62
3月 26 1 9 5 1 1 1		1 1 23
4月 19 6 1 1 1		1 1 1 1 13
5月 19 4 1		1 1 1 12
6月 16		1 1 6
7月 13 1 1 1 1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
8月 13 1 3 2		111
9月 13 1 1 2 1		11 12
10月 18 4 1 1 4 2		1 16
11月 15 3 1		1 12
12月 35 21 5 2		1 35
計 355 58 64 0 0 88 6 13 8 1 0 1 1	1 3 0 0 0 0 6 0 0 0 2 2 0 0 1 1 0 2 3 4 8 0 0 0 2 0 2 1 1 1 0 0 0 3 4 10 7 5	1 1 0 2 1 1 1 1 1 317

表8 感染症発生動向	調査に	こおけるも	実患別ウ	イルス	検出状	況																																																			
																											検	出ウイ	ルス数	ζ																											
	検体件数	フルエンザ A H	インフルエンザAH3	 -			RSウイルス	ス		1	パラインフルエンザウイルス1型 コクサッキー A 2	サッキー	コクサッキー A5	コクサッキー A 6	ロクキッキーAの	コクサッキー A10	コクサッポーA16	コクサッキー B2	コクサッキー B3	н В П − 4 с 4 о U	υ α ーキィキッロ	エンテロウイルス71型	極の一 10 円	極の一口が	エコー 1 1 型	テロウイルス		パルボウイルスB19	アデノウイルス1型	アデノウイルス2型	アデノウイルス3型			7 1	アデノウイルス 5 3 型	イルス5	アデノウイルス 5 6 型	アデノウイルス 6 4 型		単純ヘルペスウイルス1型		EBウイルス	サイトメガロウイルス	ヒトヘルペスウイルス 6型	ヒトヘルペスウイルス7型	水痘ウイルス	プスウイルス	ノロウイルスGⅢ2型	ウ イル ス G II 3	イルスGⅡ4型	8	ロタウイルスG2P [4]	ウイルスG3P[8	タウイルスG8P 8	ロタウイルスG9P「8 一	ウイルス1型	検出ウイルス数 計
インフルエンザ	242	56	33	_	88	6	1	5	1		_		_													1	_		1	_			_	_	_		_						1	1			_			_		_	_	_	_	-	224
RSウイルス感染症	12	30 1	33		00	- 0	11	J	-		1		+													-			-					_							1		1	1												ť	19
伝染性紅斑	13						11				1																	2						-	+						1				3	1				_						+	12 6
突発性発疹	4																																									1		2												7	3
水痘	6																																										2	4	1	2										7	9 14
手足口病	11							3									6				2									1														1	1												14
ヘルハ゜ンギーナ	5										1	3																																													4
咽頭結膜熱	16																												2	3	8			1																						_[14
流行性角結膜炎	6																																			2	1	1																			4
流行性耳下腺炎	3																																																							_Ľ	0
無菌性髄膜炎	13																				2				1																					1	1									_[5
感染性胃腸炎	12																																	1														1		2	1	1	1	1	1		10
急性脳炎	12	2	1				1																																			2	1	2	2	1											12
<u>a</u> +	355	58	64 0	0	88	6	13	8	1	0	1 1	3	0	0	0	0	6	0	0	0	4	0	0	0	1	1	0	2	3	4	8	0	0) 2	0	2	1	1	0	0	0	3	4	10	7	5	1	1	0	2	1	1	1	1	1	1 3	17